



「2018春闘勝利総決起集会」を開催



東部地協は3月2日(金)、駅前風紋広場において、「2018春闘勝利総決起集会」を開催しました。集会には組合員約800人が結集し、すべての労働者の処遇改善を求めました。

はじめに、橋本議長が「企業収益は過去最高を更新し、内部留保も膨れ上がり406兆円となっているが働く者の懸命の努力と成果が賃金の形で正しく報われているとはいえません。企業が投資すべきは人です。「成果の公正分配」は「人への投資」という形で、当然に求めていかななくてはなりません。今こそ、すべての働く者の月例賃金の引き上げというボトムアップによって、景気回復と経済成長を実現させる必要があります。」と

結束を求めました。

次に連合鳥取本川会長が、「働き方改革は誰のためのものか。非正規雇用の処遇改善も連合に課せられた役割。月例賃金にこだわり、5年連続の賃上げの流れを！」と今春闘の意義を訴えました。続いて、本集会にかけつけていただいた来賓を代表し、坂野経三郎県議から激励の挨拶をいただきました。

その後、産別を代表して全国農団労・鳥取いなば農協労組の荻原季重さんが今春闘にかける決意表明を行い、引き続き、JR連合の徳永一浩さん提案の本集会アピールを採択しました。最後に参加者全員で「団結ガンバロー」を行った後、敬愛高校前までデモ行進を行い、春闘勝利を目指しました。



▲産別決意表明
(全国農団労)

▲集会アピール提案
(JR連合)

「政策・制度に関わる要請書」を提出(鳥取市、智頭町へ)

東部地協は2月13日(火)、鳥取市に対して「2018年度政策・制度に関わる要請書」を提出しました。要請項目として、「雇用・労働政策」、「教育政策」(小学校の英語教科化に伴って、英語専科の教員を全小学校に配置する予算を組むこと)、「公共交通・運輸政策」(福祉・医療・生活環境対策)(ごみの分別で一般ごみとプラスチックごみの仕分けが必要か検討していただきたい)など16項目の要請となりました。

続く2月14日(水)、智頭町に対して「2018年度政策・制度に関わる要請書」を提出。昨年の台風で片側通行となっている国道53号智頭トンネルの早期復旧を望むという内容。国の事業として復旧工事の予算の目途がついており、今後は秋の

完成に向けて工事が進められる予定とのこと。今後は回答書を受け取った後、幹事会で回答内容を確認していきます。



今後の予定

◆第89回鳥取県東部地域メーデー大会は、4月29日(日)に開催!!

<会場はとぎん文化会館「梨花ホール」です。>

(主な内容) オープニングイベント、お楽しみ抽選会、プラカードコンクール、復興支援販売、デモ行進ほか

「働くことを軸とする安心社会」を実現しよう